

# 令和5年度事業報告

社会福祉法人センチュリー岡山

社会福祉法人センチュリー岡山は、「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、誰もが安心して老後を迎えることができる地域社会を目指して平成11年4月に特別養護老人ホーム阿知の里等の事業を開始し、その翌年の平成12年に介護保険制度が誕生し25年が経過しました。その間、介護保険制度は軌道修正や調整を繰り返しながら次第に成熟してきた。その背後で①総人口の減少と高齢者割合の増加、②高齢者の急増から「現役世代の急減」に状況が変化、③利用者の増加と保険料の上昇が課題として生まれています。こうした中、当法人が経営する阿知の里、福治の里、楽々園の3拠点施設の連携で介護や社会的支援の必要な人が、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、人権の尊重、サービスの質の向上、地域との関係の継続、生活環境・利用環境の向上に努めてまいりました。また、令和5年5月1日付けで養護老人ホーム楽々園に併設してケアハウス楽々園を開始しました。

次に、コロナ発生（2019年）から4年余りに及ぶコロナ禍においては、特養の感染対策委員会が中心となり、絶対にクラスターを発生させてはいけない！と職員研修（衛生教育等）に取り組んでまいりましたが、令和5年度におきましても再び特養や新設のケアハウス楽々園等においてクラスターを発生させてしまい、ご家族の皆様、そして関係者の皆様大変ご迷惑とご心配をお掛けしました。

経営においては、主力事業の特別養護老人ホームの稼働率が95%を確保しました。しかし、ショートステイ、訪問、デイサービス事業等は依然赤字運営でありましたが、結果、法人全体の経常増減差額は対前年比で13,049千円の増となっています。

## ○法人の地域福祉戦略について

高齢者福祉ニーズに対応した心の通ったきめ細かなケアを行い、施設福祉はもとより地域住民（世帯）が抱える多様で複合的な地域生活課題に社会福祉法人として取り組むため、関係機関等と連携しながら活動を行った。

- ①地域からの依頼による困難な課題を抱える在宅高齢者等への相談支援
- ②地域住民等から施設へ寄せられた相談（入所を含む）の連絡
- ③高齢者の居場所づくり（令和2年1月から「ゆうゆうサロン」を実施（現在、新型コロナウイルス感染対策のため中止））
- ④デイサービスセンター阿知の里、訪問介護事業所阿知の里、特別養護老人ホーム阿知の里短期入所生活介護、養護老人ホーム楽々園、デイサービスセンター楽々園、ケアハウス楽々園特定施設の収益を高めるため、生活相談員等が営業活動を行うとともに、居宅介護事業所のケアマネとの連携を図りました。

法人単位事業活動計算書

令和05年度

社会福祉法人 センチュリー岡山

合計

(自)令和05年 4月 1日 (至)令和06年 3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
<b>【サービス活動増減の部】</b>			
収益			
介護保険事業収益	556,796,791	552,190,719	4,606,072
老人福祉事業収益	156,721,507	120,858,622	35,862,885
福祉有償運送事業収益	800,570	638,240	162,330
その他の事業収益	12,515,400	9,928,063	2,587,337
経常経費寄附金収益	80,000	30,000	50,000
サービス活動収益計(1)	726,914,268	683,645,644	43,268,624
費用			
人件費	423,864,436	413,581,520	10,282,916
事業費	109,902,340	99,102,948	10,799,392
事務費	45,056,779	33,777,271	11,279,508
減価償却費	76,036,635	68,787,417	7,249,218
国庫補助金等特別積立金取崩額	△32,521,184	△23,104,974	△9,416,210
サービス活動費用計(2)	622,339,006	592,144,182	30,194,824
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	104,575,262	91,501,462	13,073,800
<b>【サービス活動外増減の部】</b>			
収益			
受取利息配当金収益	410,637	410,285	352
その他のサービス活動外収益	2,005,498	2,600,843	△595,345
サービス活動外収益計(4)	2,416,135	3,011,128	△594,993
費用			
支払利息	4,664,120	4,980,898	△316,778
その他のサービス活動外費用	924,599	1,178,768	△254,169
サービス活動外費用計(5)	5,588,719	6,159,666	△570,947
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△3,172,584	△3,148,538	△24,046
経常増減差額(7)=(3)+(6)	101,402,678	88,352,924	13,049,754
<b>【特別増減の部】</b>			
収益			
施設整備等補助金収益		82,370,000	△82,370,000
拠点区分間繰入金収益	16,000,000	96,722,000	△80,722,000
サービス区分間繰入金収益	2,000,000	3,000,000	△1,000,000
拠点区分間固定資産移管収益	1		1
サービス区分間固定資産移管収益		1	△1
特別収益計(8)	18,000,001	182,092,001	△164,092,000
費用			
固定資産売却損・処分損	4	2	2
国庫補助金等特別積立金積立額		82,020,400	△82,020,400
拠点区分間繰入金費用	16,000,000	96,722,000	△80,722,000
サービス区分間繰入金費用	2,000,000	3,000,000	△1,000,000
拠点区分間固定資産移管費用	1		1
サービス区分間固定資産移管費用		1	△1
特別費用計(9)	18,000,005	181,742,403	△163,742,398
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△4	349,598	△349,602
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	101,402,674	88,702,522	12,700,152
<b>【繰越活動増減差額の部】</b>			
前期繰越活動増減差額(12)	886,723,026	798,020,804	88,702,222
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	988,125,700	886,723,326	101,402,374
その他の積立金積立額(16)	300	300	
次期繰越活動増減差額(17)=13+14+15-16	988,125,400	886,723,026	101,402,374